

16 期連続受賞

ハウス・オブ・ザ・イヤー2025

2025年度《特別優秀賞》受賞



一般社団法人日本地域開発センターが主催する、省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度「ハウス・オブ・ザ・イヤー2025」において、特別優秀賞を受賞いたしました。

ヤマト住建は、2009年度の初参加以来、毎年受賞を継続しており、今年度で16期連続の受賞となります。

また、2014年度・2017年度・2023年度・2024年度には、史上初の2年連続受賞を含む、歴代最多となる4度の受賞を受賞しております。

省エネ・高気密・高断熱住宅の普及やZEH促進への取り組みが高く評価されました。



受賞した「エネージュAF+」は、UA値0.28[W/m²・K]という極めて高い断熱性能を実現。HEAT20のG2グレード基準を圧倒するスペックを誇り、国が推進するZEH基準も高い水準でクリアしています。さらに、室内空気循環機能「Airフローシステム」と、ヤマト住建とパナソニックが共同検証した天井埋込形加湿ユニット「AQUA Sitter (アクアシッター)」を搭載。エアコン2台で家中を調温できるだけでなく、湿度も同時に制御できるシステムを導入しました。また、太陽光発電・V2H・蓄電池を組み合わせた「電気の自給自足・レジリエンス住宅」の提案やオフグリッド住宅への挑戦、環境配慮型建材の活用、建設時の廃棄物削減といった、カーボンニュートラルへの積極的な貢献も高く評価されました。



※写真・パースは当社施工例です。

主催 一般社団法人日本地域開発センター

受賞商品 「エネージュAF+」

受賞名 「ハウス・オブ・ザ・イヤー2025」特別優秀賞

「ハウス・オブ・ザ・イヤー」表彰制度

建物躯体とエネルギー設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギー性能の優れた住宅を表彰し、さらなる省エネルギーによる環境負荷削減の推進と快適な住まいの実現に貢献することを目指しています。

- 【評価の視点】
- 〈視点1〉外皮・設備の省エネルギー性能値
 - 〈視点2〉多様な省エネルギー手法の導入および健康、快適性その他の取り組み
 - 〈視点3〉省エネルギー住宅の普及への取り組み